

第17回 大阪呼吸ケア研究会

拝啓 皆様方におかれましては時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

第17回大阪呼吸ケア研究会を下記の通り開催致します。今年度は、『呼吸不全終末期をいかに過すか?』というテーマとしました。呼吸ケアに関わられる各職種の方々と、本テーマについて共に考える場に出来ますように、皆様の積極的なご参加と活発なご討論をお願い申し上げます。

敬具

記

- 日 時： 2007年2月17日(土) 14:00~18:00
- 会 場： 大阪商工会議所7階 国際会議ホール
大阪市中央区本町橋2-8 TEL 06(6944)6550
- 会 費： 参加費 1,000円
- 申 込： 参加自由・事前申込不要

- 1) 開会の辞 14:00~ 代表世話人 木村 謙太郎
- 2) 特別報告 (発表15分 14:05~14:20) 座長 大阪府立大学看護学部 土居 洋子
「米国学会等の報告」 大阪府立大学看護学部 松尾ミヨ子 先生
- 3) 一般演題Ⅰ (発表7分、質疑3分 14:20~14:50) 座長 和歌山県立医科大学 鈴木 幸子
 - (1) 「在宅酸素療法導入患者への指導の実際」 愛仁会高槻病院 呼吸器内科病棟 上月 恵
 - (2) 「NIPPV療法を要する呼吸不全患者の退院支援に関わって」
北野病院 地域医療コーディネーター 入口真紀子
 - (3) 「老年期にある気管切開下人工呼吸療法と共に生きる患者への支援について」
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 竹川 幸恵
- 4) 一般演題Ⅱ (発表7分、質疑3分 14:50~15:20) 座長 大阪市立大学医学部附属病院 金尾 顕郎
 - (1) 「COPD患者が意識する終末期についての実態調査」
国立病院機構刀根山病院 呼吸不全病棟 小澤祐美子
 - (2) 「在宅訪問診療を行った肺好酸球性肉芽腫の1例」 東花園クリニック 古賀 友之
 - (3) 「気管軟化症の急性増悪で入退院を繰り返す患者及び家族との関わり」
阪和住吉総合病院 呼吸療法部 山本 敏光

◎コーヒープレイク (15分 15:20~15:35)

5) 基調講演 (講演40分、質疑はパネリィスカッションにて 15:35~16:15)
座長 富田林市ケアセンター 木村謙太郎

「慢性呼吸不全終末期と緩和医療ー呼吸困難を中心としてー」
元 日本大学医学部内科教授
ピースハウス病院顧問 信愛病院緩和ケア病棟顧問 岡安 大仁 先生

6) 特別講演 (講演40分、質疑はパネリィスカッションにて 16:15~16:55)
座長 大阪府立大学看護学部 土居 洋子

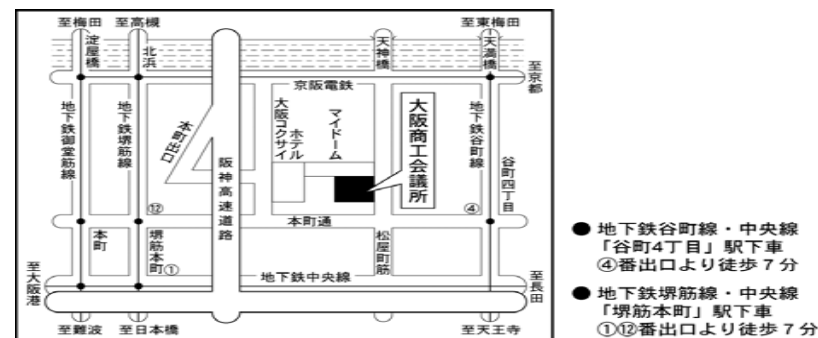
『その人らしい生と死の実現へー私たちにできることー』
永広会 島田病院 院長 島田 永和 先生

7) パネルディスカッション (発表 各15分、ディスカッション 20分 16:55~18:00)
『呼吸不全の終末期ケア』 座長 西淀病院 大野 啓文
淀川キリスト教病院訪問看護ステーション 高沢 洋子

- ・「急性期病院における慢性呼吸不全終末期ケアの現状」 淀川キリスト教病院 藤原 寛 先生
- ・「重度呼吸不全患者の訪問看護の現状」 刀根山訪問看護ステーション 長濱あかし 先生
- ・「慢性呼吸器疾患患者の終末期ケア」
大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 石原 英樹 先生

ディスカッション
8) 閉会の辞 当番幹事代表 土居 洋子

(会場案内図)



共催 大阪呼吸ケア研究会

- 【代表世話人】 木村謙太郎 (富田林市ケアセンター)
- 【当番幹事代表】 土居 洋子 (大阪府立大学 看護学部)
- 【当番幹事】 大野 啓文 藤原 寛
- 【世話人】 浅岡 和正 網谷 良一 五十嵐 敢 石田 京子 石原 英樹 伊藤 正己
井上美由紀 上田英之助 大井 元晴 加藤 元一 金尾 顕郎 金森 葉子
川崎美栄子 北 英夫 栗原 直嗣 栗山 隆信 黒田 修 小林 武彦
坂谷 光則 鈴木 幸子 高沢 洋子 高田 實 高村竜一郎 谷尾 吉郎
東田 有智 富森 洋子 長坂 行雄 仲田 裕行 長濱あかし 坂東 憲司
平田 一人 福井 基成 藤井 宏匡 本田 憲胤 前倉 亮治 舛谷 仁丸
榊野 富彌 松尾 善美 村尾 仁 安場 広高 山本 洋史 若山 俊明
脇阪 靖美
- 【事務局】 相谷 雅一 (NTT西日本大阪病院 内科(呼吸器)) 〒543-8790 天王寺郵便局留

共催 帝人在宅医療株式会社

※ 当研究会は大阪府医師会の生涯教育講座の認定を受けております。